

## 地域防災Newsとは

名古屋市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し役をお願いしている災害対策委員（区政協力委員が兼務）をはじめ地域の皆様に、防災に関する情報をこのNewsで定期的にお届けいたします。

北  
区

# 地域の防災活動 広域避難訓練



名古屋市は令和6年3月、豊山町と「災害時における広域的な避難者の受入れ等に関する協定書」を締結しました。この協定は、両市町の避難場所において避難者の相互の受入れ及びそれに伴う物資等の提供を行うものです。協定締結を受け、豊山町と隣接する北区楠地区において、令和6年度から豊山町と連携して広域避難訓練を実施しています。

令和7年度は味鋤学区を中心に楠地区5学区の住民が参加し、味鋤コミュニティセンターから豊山町の指定緊急避難場所である富士学習等供用施設へ移動し、同施設において避難所受付訓練を行いました。その後、防災倉庫の見学や、豊山町住民と楠地区住民との意見交換を実施し、防災対策に関する相互理解と連携を深めました。

令和6年能登半島地震から学ぶ  
名古屋市 避難所運営のポイント



令和6年能登半島地震の支援では、本市として多くの貴重な経験を積み重ねることができ、災害対策における様々な教訓を得ることができました。

**このレポートでは、**  
地域防災活動に取り組んでいただいている地域の皆様へ特にお伝えしたい被災地での課題や教訓を、避難所運営に関する内容を中心にまとめています。ぜひ、地域で訓練等を行う際の参考としてください。

**名古屋市 能登半島地震 報告書**  
(詳細は「令和6年能登半島地震を踏まえた地域対策に関する検証報告書」参照)

**本市の避難所運営について**

本市では、災害発生時に迅速に指定避難所を開設し、円滑に指定避難所を運営することを目的に、「指定避難所運営マニュアル」を作成しています。令和6年能登半島地震における避難所・避難者数の推移



**避難所運営の基本的な考え方**

- 01 避難所は、避難者による「自主運営」となります。
- 02 全員で協力し、お互いに助け合いながら、避難所運営に取り組みます。
- 03 要配慮者への配慮や男女平等参加の視点を取り入れた避難所づくりに取り組めます。

**名古屋市 避難所運営**  
令和6年能登半島地震では、地震発生直後に多くの避難所が円滑に開設されました。円滑な開設・運営には事前の準備が重要となります。

**「令和6年能登半島地震から学ぶ  
避難所運営のポイント」を作成しました！**

石川県輪島市などで震度7を観測し、大きな被害をもたらした令和6年能登半島地震の発生から、令和8年元日で2年となりました。

令和6年能登半島地震では、多くの避難所が発災直後に一斉に開設され、円滑な開設・運営のためには、平時からの準備が重要であることが改めて示されました。

被災地で実際にあった課題や、そこから得られた教訓をもとに、避難所をどのように運営していけばよいのかをまとめた「避難所運営のポイント」を作成しました。

ぜひ、地域での防災訓練等を行う際の参考としてください。



名古屋市公式Webサイト  
資料のデータはこちら！



毎年3月23日は **陸前高田市** との **「絆の日」**

LOVEACH  
NAGOYA-RIKUZENTAKATA

入場 無料

**絆の日**

記念交流イベント

令和8年 **3月20日** 金・祝  
11:00 ~ 16:00

会場  
**オアシス21  
銀河の広場**



岩手県陸前高田市と本市は、東日本大震災を契機として開始した「行政丸ごと支援」を縁として、平成26年10月に友好都市協定を締結し、これまで両市は同協定に基づき様々な分野で交流を推進してまいりました。

陸前高田市から本市へ友好の証として「奇跡の一本松」後継樹が贈呈され、令和3年3月23日に東山動植物園に植樹されたことを記念して、本市では毎年3月23日を陸前高田市との「絆の日」とし、陸前高田市へ思いを寄せ、震災の記憶や教訓を忘れずに、防災について考える日としています。

今年度は3月20日（金・祝）にオアシス21において「絆の日記念交流イベント」を開催します。イベントでは、タレントのつるの剛士さんや名古屋市防災広報アンバサダーのかほなんさん、気象予報士/防災士の天達武史さんがステージ出演するほか、陸前高田市の豊かな食文化を中心とした魅力を紹介する物産展やお子さま向けに防災謎解き段ボール迷路なども予定しています。

ご家族やご友人とお誘い合わせのうえ、是非、会場へお越しください。

名古屋市公式Webサイト  
イベント詳細はこちら！

